

自治・自高
考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り4月号
令和3年4月13日
西東京市立田無第三中学校

自治 そして 自 高

校長 東山信彦

今年度、18代目の校長として田無第三中学校に着任いたしました、東山信彦と申します。歴史ある田無第三中学校のメンバーに加わられたことを大変光栄に感じるとともに、その責任に身が引き締まる思いです。加えて、かつて、中野区で教員をしていたとき、12代校長の高橋俊次先生に、「田無三中に来ないか。」とお誘いを受けたことが、思い出されます。そのときは第2学年の主任と担任をしており、「担任している子たちを卒業まで面倒みたいので行けません」と、お断りしたのですが、今再びご縁をいただいたことをうれしく思います。三中にやってきての第一印象は、とても気持ちのいい挨拶ができる生徒がいる学校だということです。具体的にはまだ理由を説明できないのですが、本校に着任してすぐに、挨拶を交わす時の心地良さを感じました。

1 教育目標



国際化、情報化、科学技術の進展する中にあって平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神に満ちた人間の育成をめざし、教育目標を定める。

- ・思いやりのある心豊かな人間になろう（優）
- ・よく考え進んで実行する人間になろう（自立）
- ・丈夫な体をつくり心身ともに健康な人間になろう（健全）

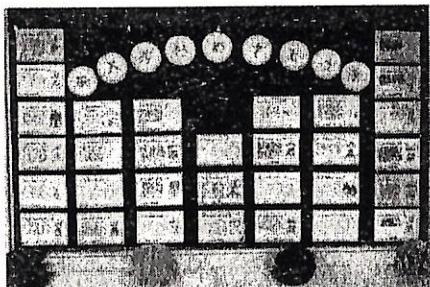
2 重点目標

自治 考える 思いやる やりぬく

3 目指す学校像

教職員・生徒・保護者・地域一体（チーム三中）となって、
「温かく、活気溢れる三中」を創る。

- (1) 温かく活気に溢れる学校
- (2) 自ら学び、自らを高める生徒
- (3) 生徒に寄り添い、挑戦を支援する教職員



田無第三中学校の教育目標に、重点目標を加えました。この「自治（自分で自分を治める・自分たちで自分たちを治める）」の精神は、自分が教員を始めた時から、大事にしていることです。1/3世紀以上の間、ずっと生徒に言い続けてきましたし、これからも、自治を支える3本柱の、「考える・思いやる・やりぬく」と一緒に、生徒に語り続けていくことになります。そして、三中では、新たに「自治」の目標とする姿の中に、「自らを高める、自分たちで高め合う」姿を加え、更なる高みを目指していくこうと思っています。新たな造語となりますが、「自高」とでも申しましょうか。わずか1週間の見立てですが、この生徒達ならできると考えました。

学校便りの原稿を書いている横で、校庭から元気に大縋に挑む生徒のかけ声が響いてきます。新型コロナ感染症の猛威は、止むことを知らず、この先に様々な対応が予想されますが、「温かく・活気溢れる、明るい田無第三中学校」を、さらに発展させていくことが自分の使命と考え、教職員に一同、そして生徒達と共に、師弟同行で前に進んでいきたいと考えています。

よろしくお願ひいたします。